

2023年度 グラスルーツ・イノベーションプログラム（GRIP）

募集要項

1. 趣旨

R2030 チャレンジ・デザインでは「次世代研究大学の実現」と「イノベーション・創発性人材の育成」を目標に掲げ、研究・教育を通じて社会課題を発見・解決し、社会と共有される知的価値である「社会共生価値」を創造していくことを目指している。

グラスルーツ・イノベーションとは、社会共生価値の創造に向けてビジョンを共有する内外の関係者が、課題解決を必要とする地域・場所に赴き、その場で知の循環を図りながら研究成果を実装し、システムとして根付かせる「草の根型」の研究・地域連携の実践を意味する。

本プログラムでは、グラスルーツ・イノベーションの理念のもと、研究成果の社会実装による地域課題の解決に取り組む研究プロジェクトの支援を目的として、その活動に必要な経費を支援する。今回の募集では、人文社会科学から自然科学までの幅広い専門知の融合（総合知）による学際融合型の研究プロジェクトや、学術以外の多様なステークホルダーとの学際共創による実証実験プロジェクトなど、グラスルーツ・イノベーションの理念にもある「研究成果を実装し、システムとして根付かせる」意欲的な取り組みを重点的に支援する。

2. 募集内容

助成対象	本プログラムの趣旨に共感し、研究成果の社会実装により地域・自治体等に内在する課題の解決を目指す研究プロジェクトを助成対象とする。 (研究プロジェクトの例) <ul style="list-style-type: none">・地域インフラの課題解決を目指したロボット・AI技術の開発・実証・新技術の社会実装に必要な法整備・社会受容性に関する調査・実証・地域資源を活用した新たな商品・サービスの開発
申請資格	本大学所属の教職員 <ul style="list-style-type: none">・教授、准教授、任期制教員（教授・准教授・講師・助教）、特任助教、特別契約教員（教授・准教授）、特別招聘教員（教授・准教授）、特別招聘研究教員（教授・准教授）、研究教員（教授・准教授・助教）、客員研究教員（教授・准教授・助教）、初任助教、専門研究員、初任研究員、研究員 ※過年度に採択実績がある教職員も申請可とする
助成金額	1件あたり100万円を上限とする。
採択予定数	15件程度
助成使途	旅費、消耗品費、図書資料費、アルバイト等謝金、印刷・製本費、委託費等、本プログラム実施のために必要となる経費を対象とする。ただし、委託費については研究開発要素を含まない内容のみを対象とする。 ※研究経費の執行管理は「研究費執行ガイドブック」に基づき、各キャンパスのリサーチオフィスが行う。
助成期間	2023年7月11日(火)～2024年3月31日(日)

3. 審査

(1) 審査方法

「申請調書」に基づき、審査委員長（研究担当副学長）が指名する委員で書面審査を行い、助成対象を決定する。なお、必要に応じてヒアリング等を実施することもある。

(2) 審査基準

下記の点を踏まえ、総合的に評価する。

- ① グラスルーツ・イノベーションの趣旨に整合する提案となっているか
- ② 活動計画に独創性・新規性および波及効果を期待できるか
- ③ 地域のステークホルダーを巻き込んだ学際共創型の計画となっているか
- ④ 学際融合研究（自然科学系と人文社会学系の融合体制での取組）であるか

4. 募集・審査スケジュール（予定）

2023年6月7日(水)～2023年6月26日(月) 正午	申請期間
2023年6月26日(月)～2023年7月5日(水)	書類審査
2023年7月6日(木)～2023年7月10日(月)	集計・採択決定
2023年7月11日(火)	結果通知
2023年7月11日(火)～2024年3月31日(日)	助成期間

5. 留意事項

- (1) 助成期間終了後に所定の様式にて研究報告書を提出すること。
- (2) 研究成果は積極的に社会において認識され、活用されることが望ましいことから、本大学で企画する各種イベントや広報物を通じた情報発信への参加・協力すること。

6. 申請方法

所定の申請様式に基づき申請する。提出方法はメール送付とする。

【 申請期間 】 2023年6月7日(水)～2023年6月26日(月) 正午

【 提出先 】 funding@st.ritsumei.ac.jp

※事務局からの受信確認メールを以って提出完了とするため、事務局からのメールが届かない場合はお問い合わせください。

7. 問い合わせ先

研究部 BKC リサーチオフィス 堀井・金岡（内線：515-6524） funding@st.ritsumei.ac.jp